



野田はまなす会会報

No. 58 平成31年2月

発行：野田はまなす会
編集：野田はまなす会事務局(野田村役場総務課)
☎0194・78・2111

はまなす通信



新年あけましておめでとうございませう。会員の皆さまにおかれましては、心新たに健やかな新年を迎えられたこととお喜びを申し上げます。

昨年6月には野田はまなす会の記念すべき設立30周年を大勢の会員や来賓、野田村伝統芸能の演者の皆さまなどの絶大なるご協力により、盛会のうちに懇親を深めることができました。はまなす会発足以来、ふるさと野田村の多大なご支援を頂き、会の運営ができましたことに対して、感謝申し上げます。

現在の会員数は200人余りですが、野田村出身の首都圏在住者は、恐らく現会員数の数倍を数えるものと推測されます。知人・友人・家族、そして若い人達が積極的に参加でき、幼少時代に過ごした海や山、川など自然いっぱいの中で遊び、学んだことを思い出し、野田の方言で多くの仲間と語り合うことができる会にしたいものです。

高度成長期から少子高齢化を迎えた中、野田はまなす会も会員の拡大や運営方法など、野田村のサポーターとして、さらに



あけましておめでとうございませう。平成31年の年頭にあたり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

野田はまなす会におかれては、昨年、記念すべき設立30周年を迎えられたことに対し、心からお喜び申し上げます。

貴会は会設立から活発な活動を背景に発展を重ねられ、関東圏を中心に広く本村の魅力を発信する役割を担っていただいています。本村に甚大な被害をもたらした東日本大震災では、応援の気持ちが入められた見舞金



進化するために何ができるのか、より良い方策を模索して参りたいと考えております。

今年も改元の年であり、希望に満ちた年になることを期待し、本年も役員・会員の皆さまとともに、会発展のため全力で取り組んで参りますので、今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

今年が皆さまにとって充実した良い年でありませう、心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

や緑化協力募金などの温かいご支援を賜り、村の復興に広く活用させていただきませう。

さて、震災から間もなく8年が経過します。今なお継続して支援していただいている皆さまに心から感謝申し上げます。

村では関係各位のご理解とご支援のもと、復興事業の主要なハード事業が概ね完了を迎えました。昨年12月には県道野田山形線野田工区が完成し、大震災大津波相当の津波でも被災せずに緊急輸送を行える交通ネットワークが整備され、防災力と平時時の交通の利便性が向上いたしました。また、防災緑地として整備した十ヶ浦公園は平時時には村内外から多くの人が訪れ、子どもから大人まで幅広い憩世代の憩いの場として賑わっています。皆さまから賜りました募金により同公園内に植樹したサクラは春と秋に淡い色合いの可愛らしい花を咲かせ始め、訪れた人の心を癒しています。

今後も、一日も早い復興を目指し、安全・安心で活力のある村づくりに向けて取り組んで参りますので、引き続き皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結び、野田はまなす会のより一層のご発展を心からご祈念申し上げます、新年のあいさついたします。



設立30周年 記念事業の報告

記念事業実行委員長
桜庭 昌吾

野田はまなす会は、平成元年に設立されて、平成30年に設立30周年を迎えました。まさに、この会は平成の時代と共に歩んできました。これを祝賀するため、平成29年2月12日に「野田はまなす会設立30周年記念事業実行委員会」を設置し、大きく3つの事業を行うこととして話し合いを続けてきました。会設立30周年記念事業の実施概要を記して、報告とさせていただきます。



会場に現れたなもみ



総会に出席された皆さん

【記念総会・記念祝賀会】

平成30年6月17日、記念総会・記念祝賀会を東京都千代田区霞が関の東海大学校友会館(霞ヶ関ビル35階)にて開催しました。来賓として小田祐土村長、貳又正人議長、村議会議員10人、小原正弘教育長、鈴木文彦県人連合会会長、平野直岩手県東京事務所長、近隣友好6団体代表会員、その他野田村の伝統芸能演者を含め、総勢118人の参加者で盛会でした。野田村の特産品展示販売や、村の神楽・



福を届ける大黒舞

大黒舞・なもみによる熱気あふれる演技、村特産品の特別福引き、さらに、久慈暁子フジテレビアナウンサーの特別参加など、どれも大変好評でした。

【会設立30周年記念誌の創刊】

平成29年2月に「記念誌編集委員会」を立ち上げ、毎月定期的に編集会議を開いて検討しました。



30周年記念誌

原稿集めや原稿書きや記録写真集め、写真選定など、ご努力いただきました。村事務局には140ページにわたる記事や写真の割り付け・構成、校正に多大なご尽力をいただき心から感謝します。

編集の特色は、次の3点です。

- ①未曾有の大津波を後世に語り継ぐために、東日本大震災特集を貴重な写真で編集したこと。
- ②「野田はまなす会の歩み」として、写真を中心に編集したこと。
- ③平成21年からの「はまなす通信」を原寸大で入れたこと。

発行部数は250部で、総費用は70万円でした。協賛金・広告の賛同協力者と総会出席者には無償で贈呈しました。希望者

には残部の範囲で1500円程度有料頒布しています。

【野田村の復興状況の視察・交流親睦会の開催】



城内地区の復興状況について説明を受ける参加者

平成30年8月12日、野田村役場前に集合・現地解散で村の復興状況の視察・交流親睦会を実施しました。

復興状況視察では村のバスを利用し、村観光協会の震災ガイドと村職員の案内で村内を視察しました。

夕方からは、国民宿舎えぼし荘にて交流親睦会を行いました。小田村長・廣内副議長らを迎え、参加者31人で楽しい交流会を持ちました。

【記念事業の費用捻出について】

記念事業実施のため、趣旨賛同者に協賛金を募りましたところ、合計金額54万3千円が集ま

りました。協賛いただいた皆さまに心から御礼申し上げます。村からは、記念誌への助成金、伝統文化普及・啓発および特産品のPRなどの助成金を受け、記念事業を完遂することができましたことを付記し、衷心より厚く感謝申し上げます。会員の皆さまのご協力に心から御礼申し上げます。報告いたします。



交流親睦会の参加者



新役員紹介



氏名	坂本 春雄	役職	監事
生年月日・卒業年月日	昭和28年5月13日生 昭和44年3月野田中学校卒業		
出身地区	門前小路地区		
現住所	東京都足立区花畑		

第45回 岩手県人連合会総会

岩手県人の集い開催のお知らせ

岩手県人連合会は、岩手県内各市町村のふるさと会や高校の同窓会など約90団体により組織されています。

毎年約500人が集まり、いろいろな人と楽しく交流し、親睦を深めています。本会からも10人ほど参加しています。

- 日時 6月2日(日)
受付開始 午前10時～
開会 午前11時～
- 会場 ホテルラングウッド
(日暮里駅南口付近)
- 会費 8千円
- 申し込み 久慈士郎(090・5567・5795)

第3回役員会

新会員勧誘など6項目を協議

1月6日、第3回野田はまなす会役員会が東京都千代田区虎ノ門の「目利きの銀次・虎ノ門店」において、役員14人出席の下、開催されました。坂本幹事長の司会で、以下の6項目が協議され、提案通り承認されました。

なお、役員会終了後、同所で恒例の新年懇親会が行われました。

【協議内容】

- (1) 会設立30周年記念事業の報告と承認に関して(報告)
 - ① 総会・祝賀会について
 - ② 会設立30周年記念誌の創刊
250部 総費用70万円
 - ③ 野田村復興状況視察・交流親睦会の開催
31人出席
- (2) 日帰りレクの反省について
はとバス・都内観光・25人参加
- (3) 新会員・役員勧誘について
- (4) 会報No.58号発行について
- (5) 2019年度総会について
6月30日(日) 午後2時～
東海大学校友会「霞が関ビル35階」予約済み
- (6) 次回役員会について
4月7日(日) 午後1時～

木彫りの魚美術館 「魚の番屋」紹介

桜庭 昌吾

野田村に、木彫りの魚が泳ぐ「魚の番屋」という珍しい美術館があります。

2018年5月に開館したものです。作家は、下安地区出身の深渡栄一氏(一等航海士・船長)で、漁師歴は50年とのこと。

10月の帰省の折に訪れ、制作現場を見ながら、深渡氏から色々とお話を聞く事ができました。漁師を続けながら、チェーンソーやノミ、彫刻刀を使って、主にケヤキの木に命を吹き

込み、およそ800点の海の生き物を制作したとのこと。広い美術館の中には精巧かつ緻密に制作した作品が約350点ほど展示されていました。50年の漁を通して見つめてきた海の生き物の作品は、心が込められていて、目の前の海を生き生きと泳いでいるようでした。一時間ゆつくり、海の中を歩いている気持ちで見て回りました。美術館は、和野平地区にあります。三陸鉄道北リアス線の「十府ヶ浦海岸駅」の線路の下をくぐって米田地区の方向に向かいます。案内板に従って上っていくと、平谷観光農園が見えてきます。その前に立つ大きな建物が、木彫りの魚美術館「魚の番屋」です。



まるで生きているかのような魚たち

一つひとつの作品が丹精込めて作られており、よくもこれほど多くの作品が作れたものだと感動しました。会員の皆さんも一度はぜひ家族で鑑賞なさるようお勧めします。

2019年度・野田はまなす会

総会・ふるさと交流会開催のお知らせ

野田はまなす会総会およびふるさと交流会を下記により開催します。年一回のふるさと交流会です。野田村出身者や関心のある人など、どなたでも参加できますので、友人・知人を誘ってぜひご参加ください。

- 日時 6月30日(日) 午後2時～
- 会場 東海大学校友会館(霞が関ビル35階)
- 最寄駅 銀座線:「虎ノ門」出口5番・11番
(地下鉄) 千代田線・日比谷線:「霞が関」出口13番
丸の内線:「霞が関」出口A4
南北線:「溜池山王」出口8番
有楽町線:「桜田門」出口2番
- 費用 交流会費6千円・年会費3千円
※今年学校を卒業された場合、無料です。

問い合わせ

- 会長 久慈士郎 090・5567・5795
- 事務局 野田村役場総務課 ☎0194・78・2111

10月14日(日) コース概要

【観光名所巡り】

東京駅・はとバスのりば出発→日本橋(車窓)
→浅草橋問屋街(車窓)→浅草・雷門(📷)→
レインボーブリッジ(車窓)→お台場(📷)→
東京タワー(📷)→東京駅・はとバスのりば
帰着

📷印で写真撮影

【昼食】和食膳と飲み放題で懇親会



東京タワーで記念撮影



はとバス創立70周年記念
東京百景の半日コースを満喫!

東京幹事 加藤 和子

平成30年10月14日、恒例の野田はまなす会日帰りレクリエーションを実施しました。

いつか乗ってみたいと思いつつ、機会がないまま数十年…と言う人も多い『はとバス』は、創70周年を迎え、多彩な100コースで東京近郊の名所をくまなく回っています。今回はその中で、都心の代表的な観光名所をサクッと巡る早期完売の人気コースをガイド付き2階建てバスで巡りました。

今回はあらかじめ座席数の予約が必要で、25席限定にしました。

申し込み無しで当日お出でいただいた会員がいましたが座席に空きがなく乗車できなかったのが大変申し訳なく、残念でした。本当にごめんなさい。

はとバス体験を楽しんだ後、参加者25人で飲み放題の昼宴会で懇親を深めました。

時間があつという間に過ぎた楽しい一日でした。参加した皆さんのご協力に感謝します。

来年は神奈川県幹事の担当です。神奈川県で企画してほしいことなど、ご要望を会長や各県役員へお寄せください。



昼食のひととき



はとバスのり場に集合する参加者

あとがき

◆「平成」最後の会報となりました。いろいろなことが思い出される感慨深い平成の30年間でした。

◆昨年の漢字は「災」。2月北陸の豪雪や、6月大阪北部地震、7月西日本豪雨、岡山県真備町の川の氾濫では、住宅が木の葉のように流されていく映像に度肝を抜かれました。関東に住む私たちも予測される巨大災害にどう対応するか、頭の痛いところです。

◆災害が多発した中、山口県周防大島町において、お盆で

野田 便り



当会で募金を募り、野田村の十府ヶ浦公園中央入口付近に植栽した桜「アーコレード(秋・春の2回開花する品種)」が11・12月に開花。淡いピンク色の花卉に、訪れる人は驚きと癒しを感じていました。

訃報

野田はまなす会第二代会長 種綿 勇様(享年78歳)が平成30年11月25日に逝去されました。ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

帰省した藤本理稀ちゃん(2歳)が迷子・行方不明になりました。スーパードランティアの尾島春夫さん(78歳)が一人で捜索して、68時間ぶりに無事保護されました。日本中、あつぱれの歓喜に沸きました。

◆秩父神社で見た含蓄ある「親の心得」をふと思い出しました。

親の心得(秩父神社)

- ・ 赤子には肌を離すな。
- ・ 幼児には手を離すな。
- ・ 子どもには目を離すな。
- ・ 若者には心を離すな。

(S・S)